



平成 30 年 12 月 5 日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部
広報・渉外課

とっても元気！宮大チャレンジ・プログラム「ゆず取り合戦」の実施について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

さて、本学では、社会でリーダーとして活躍する企画力や実行力を高めるためのプログラムとして、「とっても元気！宮大チャレンジ・プログラム」を実施してきております。その中の1つの企画として、西都市銀鏡地区において「ゆず取り合戦」を12月8日（土）に開催し、約40名の学生が参加する運びとなりました。

同イベントは、平成29年度に授業の一環として開催した「しろみ活性化作戦会議」（平成30年1月30日）において、参加した学生・教職員と地域の方々のグループワークから、銀鏡地区の人手不足解消のためのアイデアとして生まれたもので、人手不足という地域課題への対応と、学生に地域を知ってほしいという学生（大学）の思いが融合し、学生が授業で学んだことを授業だけで終わらせずに、学生が地域と連携して、西都市からの支援を受けて具体化させました。（詳細は別紙）

本企画は、「かぐらの里『ゆず感謝祭』2018」のメインイベントとして実施され、今回が第1回となります。宮崎大学の学生10チーム（留学生6名を含む40名）と、地域からの一般参加6チーム（25名）が、チーム対抗でゆずの収穫量を競い、学生が地域をフィールドとした学びを深めるとともに、楽しみながら地域の課題解決に貢献する新しい取組を展開したいと考えております。

つきましては、取材についてご検討いただければ幸いです。

敬 具

記

日 時：平成30年12月8日（土）9:00～15:30（※7:00 宮崎大学出発）

場 所：宮崎県西都市銀鏡492（西都市街より車で約1時間）

※詳細は別紙をご覧ください

この企画は、「とっっても元気！宮大チャレンジプログラム」
特定地域枠（西都市枠）の助成を受けています。



ゆず獲り合戦 YTG



同日開催「ゆずまつり」の目玉企画であるYTGの参加者大募集!!

チーム対抗でゆずの収穫量を競います。多かったチームには豪華賞品が贈られます。

★募集内容★

- ・募集人数 **30名**
- ・参加費 1人 **500円**
(昼食代、宮崎大学から
会場までの交通費込み)
- *5人1チームに割り振ります

★ゆずまつりの催し物の予定★

- ゆず狩り*持ち帰り可(有料)
ゆず加工場の見学
- 食事のふるまい(YTG参加者は食券配付)
銀鏡の色々DVD鑑賞
- 屋台(豚汁、焼き鳥などを予定)

★当日のスケジュール★

- 7:00 宮崎大学出発**
- ～9:00 現地到着
- ～9:30 安全祈願、開会式
- ～10:20 ルール説明、移動
- 10:20～11:40 YTG前半戦
- 12:00～13:20 YTG後半戦
- 13:30 昼食、工場見学
- 15:10 閉会式、表彰
- 15:30～ 銀鏡出発
- ～**18:00 宮崎大学到着予定**

2018/12/8(土)

9:00-15:30

@かぐらの里(株)

〒881-1231宮崎県西都市銀鏡492

西都市街より車で約1時間

第1回 ゆず獲り合戦 (Y.T.G) 要項

あなたの元気と好奇心を、地域の課題解決に役立てよう!

＜競技ルール＞ *ルールや賞品は、参加チーム数などにより変更される場合もあります

- ・1チーム5人でのチーム対抗戦
- ・競技時間は前半80分、後半80分
- ・収穫したゆず1kgにつき、1ポイント
- ・女性参加者にはハンディキャップ有り!
- ・最も獲得ポイントが多かったチームが優勝となります
(その他、重量当てる部やブービー賞など、体力に自信がなくとも賞品ゲットの可能性有り)

＜注意事項＞

刃物を扱いますので取り扱いには十分気をつけてください
スタッフからの指示には必ず従ってください

＜賞品＞

ポイントの部

- 1位: ゆずはっち1ケース+西都市ギフト券10000円分
- 2位: ゆずはっち1ケース
- 3位: 宮崎犬ゆずこしよう3本セット5組
- ブービー賞: 宮崎犬ゆずこしよう20本



重量当てる部

- 1位: 西都市ギフト券10000円分
- 2位: ゆずこしよう1ケース(20本)
- 3位: ゆずこしよう20g2本セット
- ブービー賞: 当日の屋台で出している焼き鳥20本

参加賞

- ・黄ゆず5つ
- ・ゆずの木1年間オーナー権(1チーム1本)

この企画は、平成29年度の地域デザイン概論Ⅱ(地域活性化・学生マイスター養成科目)の受講生が、西都市銀鏡地区の課題解決に取り組み、地域の方々と協力により実現するものです。「ゆずはあるのに、収穫の人手が足りない」という地域の悩みの解決に、ゆずの収穫体験を楽しむというあなたの好奇心を役立ててみませんか。